

■各地域の重点取り組み

一関地域

- 世界文化遺産「平泉」と市内観光地を結ぶ周遊観光ルートの定着と公共交通機関の利用促進
- 地元ガイドによる歴史の小道などの街散策
- 東京都豊島区、福島県三春町、宮城県仙台市などでの物産と観光展の開催
- 栗駒山（須川岳）、真湯・祭崎地区への誘客と栗駒山麓周辺市村との連携の強化
- 一関温泉郷や各種イベントの情報発信

千厩地域

- 千厩酒のくら交流施設への誘客促進
- 夫婦石の情報発信のための事業実施
- 東京都世田谷区での物産と観光展の開催

川崎地域

- 東京都町田市、神奈川県川崎市での物産と観光展の開催
- 道の駅かわさきを活用した情報発信
- 農家民泊の受け入れ態勢の整備

花泉地域

- 花と泉の公園の情報発信
- 花や自然に特化したファミリー向けイベントの企画実施
- 東京都江東区での物産と観光展の開催

東山地域

- 尻鼻溪への誘客と回遊対策の強化
- 東京都品川区での物産と観光展の開催

藤沢地域

- 館ヶ森収穫祭などのイベント開催・情報発信による館ヶ森エリアへの誘客推進
- 花や動物に特化したファミリー向けイベントの企画実施
- 東京都中央区での物産と観光展の開催
- 農家民泊の受け入れ態勢の整備

大東地域

- 地域内の景勝地や民俗資料館、芦東山記念館の情報発信
- 建設を進めている国道 343 号渋民バイパス「道の駅」を活用した誘客促進
- 神奈川県藤沢市での物産と観光展の開催

室根地域

- 室根山周辺で開催されるアウトドアスポーツの推進
- 室根山観光の情報発信と「森は海の恋人」植樹祭に係る気仙沼市との連携支援
- 埼玉県吉川市での物産と観光展の開催
- 和歌山県田辺市、和歌山県新宮市との熊野交流推進と室根神社特別大祭開催に係る連携の強化

■計画の推進

市民、観光関係団体等、DMO 及び市が共に連携し、観光をめぐる環境の変化に対応した有効な取り組みを行っていくことが必要です。

このため、それぞれが担う役割を明確にし、本計画が着実に推進されるよう取り組みます。

■観光振興に関する施策の評価

年度ごとに一関市観光審議会において観光振興に関する施策の評価を行いながら実効性を高めていきます。

■観光統計の整備等

観光産業に携わる民間、市、団体などが適切な施策や事業を実施するため、各種観光統計の整備等の実施など、現状をより正確に把握するよう努めます。

■市民・観光関係団体等・DMO・市の役割

【市民】

- 観光客に感動を呼び、リピーターとなっただけのようおもてなしの心を持っていやしの里へ観光客を迎え入れるため、住む場所、観光地の清掃活動や観光ガイド、各種イベントへの参加
- SNS などを活用した情報発信による本市の魅力アップにつながる身近な活動

【DMO】

- 行政や観光関係事業者をはじめとする様々な産業の事業者や地域住民等の多様な関係者を調整
- 地域全体での戦略的な観光地域づくりと地域内経済循環の推進を主導

【観光関係団体等】

- 観光客のニーズに対応した商品造成やイベントの企画
- 地域内経済循環を高める視点を持って、各種サービスの向上やおもてなし力の向上、情報発信
- インバウンドを呼び込むための Wi-Fi 環境の整備促進やキャッシュレス化、多言語への対応

【市】

- 観光事業者、観光分野以外の関連事業者、市民等との密接な連携のもと、総合産業としての観光産業の振興策の策定
- 地域資源を生かした観光産業の振興



基本理念

恵まれた自然と悠久の歴史が育むいやしの里 いちのせき

本計画の 目標指標

令和元年度（2019 年度）
・年間観光入込客数 約221万人回
・外国人観光入込客数 42,700 人回
※参考指標 観光消費額 124 億円

令和 8 年度（2026 年度）目標値
・年間観光入込客数 221 万人回
・外国人観光入込客数 42,700 人回
※参考指標 観光消費額 124 億円



指標の考え方

新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度を基準とし、令和 8 年度までに基準年度への回復を目指すものです。

一関市観光振興計画

（令和 4 年度～令和 8 年度）

【一関市の観光の課題】

Ⅰ 平泉との連携強化による一関ブランドの発信

- SNS 等、各種情報発信ツールを活用した取組
- 効果的かつ効率的な事業の展開
- DMO を中心とした一関・平泉エリアにおける観光地域づくりの推進

Ⅱ 観光資源の活用と情報提供の充実

- 各地域の祭りやイベントを活用した観光客の誘致
- パンフレットの見直し、集約、内容の精査と効果的な方策
- 観光施設の在り方の検討、見直し
- 関係者等が連携した適時適切な情報の発信
- 「もちのブランド化」構築のための一体的な機運の醸成
- 一関三大フェスティバル（全国もちフェスティバル、全国地ビールフェスティバル、一関・平泉バルーンフェスティバル）等、特徴あるイベントの充実、進展
- 体験型観光の構築と磨き上げ

Ⅲ 観光に関する受け入れ態勢の整備

- おもてなし意識の醸成
- ボランティアガイドの養成・確保
- 多言語化への対応
- 二次交通網の維持、整備

Ⅳ 広域連携の推進

- 近隣市町村等との連携による観光振興事業の実施

Ⅴ インバウンド誘客の推進

- 多言語化や広域連携の強化のほか、「農泊 食文化海外発信地域」の計画に基づいた取組の推進

基本方針

1 平泉との連携強化による「いちのせき」の発信

2 観光資源の活用と情報発信の充実

3 受け入れ態勢の整備

4 広域連携の推進

5 新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた観光施策

観光振興戦略

- ①平泉と主要観光地をつなぐルートを生かした一関ブランドの発信
- ②骨寺村荘園遺跡の活用や平泉とのゆかりを生かした観光振興
- ③観光地域づくりと地域内経済循環の推進

- ①地域資源の掘り起こしと活用
- ②観光情報の充実
- ③ニューツーリズムの推進
- ④栗駒山、室根山、館ヶ森エリアやその周辺の観光資源の活用
- ⑤誘客の推進
- ⑥外国人に対する情報発信の強化

- ①おもてなし意識の醸成とガイドの確保
- ②観光施設、公共施設等の受け入れ環境の整備
- ③観光ルートの整備
- ④二次交通網の構築

- ①近隣市町村や関係市町村との連携
- ②地域資源の相互利用

- ①新たな観光資源の開拓と観光需要への対応
- ②安全安心な受け入れ態勢の推進
- ③ワーケーション・ブレイジャーの推進
- ④インバウンドの推進
- ⑤持続可能な観光の推進

重点的取り組み

- (1) 世界文化遺産「平泉」と市内観光地を結ぶ周遊観光ルートの定着と公共交通機関の利用促進
- (2) 一関・平泉地域の特産品やもち食文化など特徴的な観光資源を活用した誘客事業の創出
- (3) 骨寺村荘園遺跡など平泉とのゆかりを生かした観光誘客の推進
- (4) 一般社団法人世界遺産平泉・一関 DMO や観光関連事業者などとの連携による観光地域づくりと地域内経済循環の推進

- (1) 観光資源の掘り起こし・磨き上げによる魅力の創出
- (2) 「食・農・観光」の連携による魅力の発信
- (3) 四季を通じた特色あるイベントの充実
- (4) 観光ホームページや SNS 等多様なツールを活用した国内外に対する情報発信の強化
- (5) 体験型観光の強化による農家民泊、教育旅行等の誘致
- (6) 須川・真湯・祭時地区、室根山、館ヶ森エリアのアウトドア資源等を活用した観光誘客の推進
- (7) 観光キャンペーン等と連動したプロモーションの強化

- (1) 研修会等によるおもてなし意識の醸成
- (2) 観光ガイドの養成や組織の育成支援等による受け入れ態勢の充実
- (3) 統一した案内標識の導入や Wi-Fi 環境の拡大等による受入環境の整備
- (4) スケールメリットを生かした観光ルートの整備・向上
- (5) 二次交通網の構築

- (1) 県境を越えた近隣市町村との連携の強化
- (2) 姉妹都市、友好都市との交流の推進
- (3) 広域的な周遊観光の創出による滞在型観光の促進

- (1) 観光需要の把握と分析による既存資源の活用と新しい資源の創出
- (2) 安全安心な受け入れ態勢の確立
- (3) 一関型ワーケーション・ブレイジャーの構築
- (4) インバウンド推進のための受け入れ環境整備や情報発信の強化
- (5) 持続可能な観光の実現に向けた取組の推進